

2021年
7月14日号
NO 4号



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYA OYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習



7月14日のじんけん楽習塾は「ぬっくの活動報告と、ぬっくで出会う子どもたちの実情と支援について」がテーマです。講師は森本志磨子（弁護士/NPO 法人子どもセンターぬっく理事長）です。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除されましたので、安中人権コミュニティセンターで開催します。ZOOMによるオンライン配信もしますが、オンラインによる配信の限界もあるかと思えます。ご了承ください。なお会場参加者は700円の参加費がかかります。オンラインはこちらの配信力量の限界もあり無料です。

当日の突然の参加はお断りします。

みんなのふりかえり 4回目 6/30



6/30
目で見て、気づいて、
考えて ——色覚問題
とあなたのつながり——

尾家宏昭さん（しきかく学習カ
ラーメイト代表）の回



■発見だらけの時間でした。

多くの方がみおとすものを見つける、少数色覚のすてきな面と、出会うことができ、色覚「異常」ということばがふっとびました。

同時に、「知らない」ことのこわさと、「知る」ことの大切さを感じ、今日の私のように、まわりの価値観をどんどんかえていき理解者をふやしたいです。

■少数派という表現が良いなと思えました。

視覚からの情報が95%ということで、多数派の「ふつう」が差別につながっているんだと感じました。

■色の感じ方も多様なのだと学ぶことができました。

オンライン参加のみなさんへ

- 研修参加の際は、入室後は、映像はオンの状態で願います。（休憩中はオフでも大丈夫です。）
- 研修参加の際は、こちらが指示するまでマイクはミュートでの参加をお願いします。
- ZOOMに入室できない等でお困りの時は八尾市人権協会 072-924-9853 にお電話ください。
- 連絡は、ZOOMに入室後の連絡は、ホスト（事務局）あてチャット機能をお使いください。

「ちがう」ことを排除の理由にしないこと、多数派の価値観だけで「ちがいを認めないようなことがないよう心していきたいと思いました。ありがとうございました。

■たくさんの気づきがあった学習でした。

体験もあり、自分の経験として、感じることができました。もっと歴史的なことも含めて、知っていかないといけないなと思いました。また、多くの方が正しく・・・と言っていいのかな知ることとして、広まって欲しいと思います。まずは、自分から！

■多くの方が見落とすものが見えるという色覚。初めて、写真を見ながらの見える、見えない経験をしました。自分とは違うことを排除することは、どんな分野にもあったんだと改めて憤った。今だに医学的に消えない「異状」という単語は早くなくして欲しいと思う。

■たくさんのことを気づけました。いくつか説明を理解できないところがあったのでまた学んでみます。

♪ 物の色 気づいてみれば 自分色 (MORIP)

■「色覚」についてはじめて学ぶことばかりでした。

この学習会で知らなければ、「個性」を「劣ったもの」と偏見で見ていたと思います。ありがとうございました。

■自分のまわりにも、色盲とか色弱とか言ったり言われたりする人がいますが、多数派と少数派というだけで、どっちがいいかではなく、どちらでもいいということが理解できました。

たまに、自分の息子(小5)が、色のことで、ちょっと…へんなことを言うなと思うことが、今までに何回かあり、(10年ぐらいで何回かなので大したことないとも言えますが、こわいからあえてふれなかったとも言えます) どうしようもないからと考えすぎないようにしていましたが、息子は少数派だけなのだとわかり、少し気楽になりました。

■・体験を通じて違いを感じることができてよかったです。

・はじめの方で尾家さんからの質問で「異常」って何?とありました。

その答えが多くの人が見落とすことを見つけられるということにびっくりというか、ああそうかと…と思いました。自分の考えかたがちょっとこりかたまってしまっていると気づきました。ありがとうございました。

■身近に「少数色覚」の人がいます。理解をしたいし、私の色に関する会話で不快な思いをすることがあるのではと気になることが多いです。

話をしながらギャップを埋められると思いましたが、私の側に知らないことが多すぎると今日学びました。「命をかけた(?)」競争に全敗!という見え方の個性もわかりました。

■久々に直接、講師の方の顔を見て声を聴いての楽習塾で新鮮に思いました。二人組での話し合いでも Zoom では他のグループの話し声や歓声が聞こえないですが、会場だとそういう声も聞こえたことがそう思わせられたかもしれません。

教職歴 40 年程の中で色覚異常の子どもは、受け持ったことがありませんでした。しかし、今回のお話を聞いて、たまたま見つからなかっただけかもしれません。本当は学級にいたのかもしれませんがね。そう思うと、その子らはどんな思いだったのだろうと。

いつも 19 時前に NHK の天気予報を見ているのですが、多分 4 月から表示の色合いが、コントラストの淡い色調に変わりました。「これじゃ色覚の人は見づらいかもしれないね」と妻と話していました。しかし、色覚異常について詳しく知っていたわけではなく、今回改めて理解を深めることができました。いい加減な知識に恥

じ入るばかりです。

また、色覚異常に対する不十分な認識や無理解による差別について腹立たしく思いました。変えなければならぬのは社会の方で、色覚異常の人があきらめたりすることではないと改めて思いました。

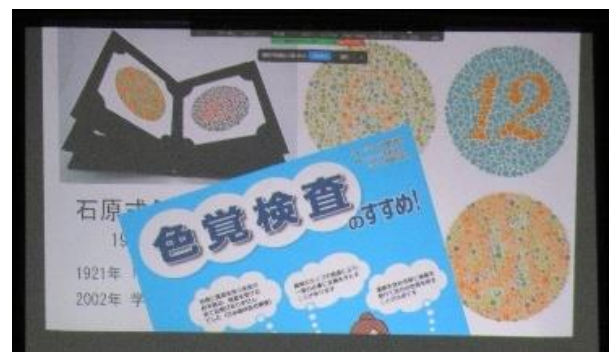
虹は七色というのは日本だけらしい。人それぞれの見え方があっていいと思う。(ふくちゃん)

■今回は川柳を 3 首。

♪ ヒョウ柄は おしゃれじゃないの サバイバル

♪ 異常なり 「異常」と断定 優生思想

♪ 見え方は いろいろ多彩 多角的



連絡

毎回ふりかえり用紙をくばります。オンラインの場合はファイルを送ります。後でメール/ファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYA OYA 通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用場合があります。なるべく個人が特定しにくいものと考えていますが、困るという方は事務局に申しつけてください。